

株主メモ

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- **定時株主総会** 基準日 毎年3月31日
開催日 毎年6月中
- **剰余金の配当** 期末配当基準日 3月31日
中間配当基準日 9月30日
- **単元株式数** 100株
- **公告方法** 電子公告（事故その他やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載）
<http://tpr.co.jp/>
- **株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- **特別口座の口座管理機関** みずほ信託銀行株式会社
- **同事務取扱場所** みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- **お問い合わせ先**

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取り 方法の変更等)	お取引の証券会社等	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットアース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

- ホームページアドレス <http://tpr.co.jp/>

お知らせ

単元未満株式の買取制度について

単元未満株式（100株に満たない当社株式）を当社が買い取る【買取制度】がございます。

詳しくは、みずほ信託銀行(0120-288-324)にお問い合わせください。

- 買取制度の例（150株ご所有の場合）



配当金の確定申告について

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

TPR株式会社



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



TPR

TPR株式会社

証券コード：6463 (東証一部)

Innovate & Expand / Globally & Speedily

第87期

中間報告書

2019.04.01 » 2019.09.30

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社第87期第2四半期連結累計期間が終了しましたので、概況につきご報告申し上げます。

弊社第2四半期連結累計期間を取り巻く経営環境は、国内は雇用や所得環境が改善し緩やかな回復傾向を持しましたが、海外は米中貿易摩擦の激化による世界経済の減速懸念などにより、先行き不透明な状況が続きました。

弊社グループが主として関連する自動車業界におきましては、国内市場は登録車、軽自動車ともに堅調に推移しましたが、中国、新興国市場では対前年割れとなり、北米では小型トラックで下支えしたものの乗用車が大幅減少となるなど、世界市場全体として大変厳しい環境となりました。

こうした経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は894億円（前年同期比6.0%減）となりました。利益面は、売上高の減少に加え新技術の量産立上げコストや新商品の開発費用などにより、営業利益は66億円（同28.7%減）、経常利益は74億円（同33.1%減）、純利益は49億円（同21.3%減）となりました。前年同期比で減収減益となりましたが、継続的な原価低減活動の推進や経費圧縮などにより、期初の収益計画は概ね達成しております。

中間配当につきましては、期初予想通り、80周年記念配当を含めて1株当たり30円とさせていただきたいと存じます。また、株主の皆様への永年にわたるご支援に感謝の意を表すため、期末配当につきましても、80周年記念配当を含めて1株当たり30円（中間配当と合わせて年間配当60円、うち記念配当4円）を予定しております。

弊社は本年12月、創業80周年を迎えます。

弊社は本年12月に創業80周年の節目を迎えます。自動車業界は「100年に1度の大変革の時代」にあり、また、

世界経済についても不確実性を増しており、弊社を取り巻く環境はますます厳しくなるものと認識しております。引き続き、危機感とスピード感をもって経営の4本柱である①パワトレ商品のダントツNo. 1を追求、②新規事業の積極展開をスピードアップ、③安全・環境・防災の徹底、④働き甲斐のある職場づくりの徹底に取組み、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

今後とも株主の皆様の変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月10日



代表取締役会長
兼CEO
末廣 博

■ 第2四半期連結決算ハイライト

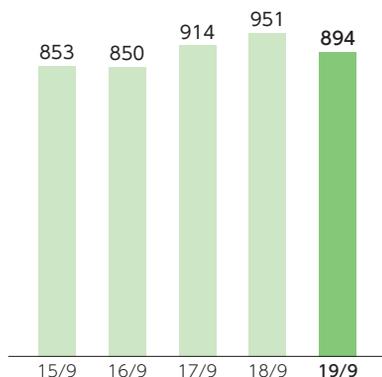
■ 売上高	894億15百万円
■ 営業利益	66億45百万円
■ 経常利益	74億42百万円
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益	49億95百万円

■ 2020年3月期通期連結業績予想

■ 売上高	1,877億円
■ 営業利益	154億円
■ 経常利益	186億円
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	109億円

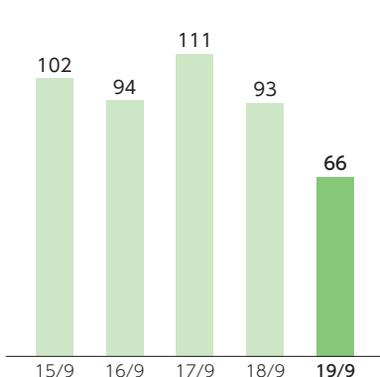
売上高 894億円 (前年同期比 6.0%減) ▼

(億円)



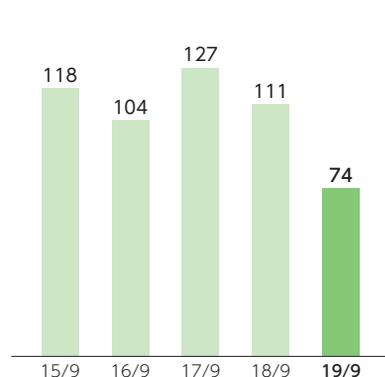
営業利益 66億円 (前年同期比 28.7%減) ▼

(億円)



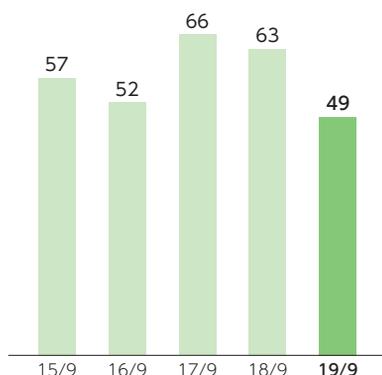
経常利益 74億円 (前年同期比 33.1%減) ▼

(億円)



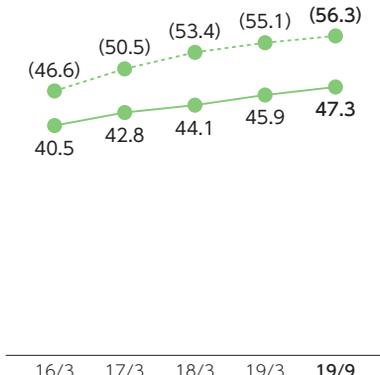
親会社株主に帰属する四半期純利益 49億円 (前年同期比 21.3%減) ▼

(億円)



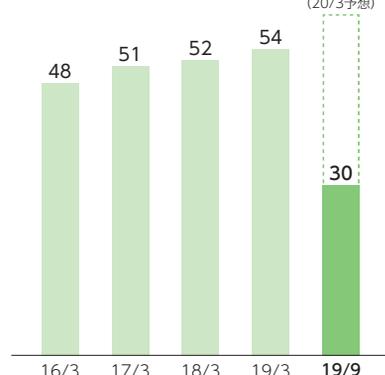
自己資本比率

(%)



1株当たり配当金

(円)



※ () 内は、総資産から現預金を控除した場合の数値

セグメント情報

セグメント業績

売上高構成比率

(当第2四半期連結累計期間)

日本

アジア

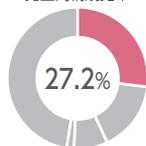
北米

その他地域

ファルテックグループ

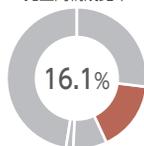
T P R グループ (ファルテックグループを除く)

売上高構成比率



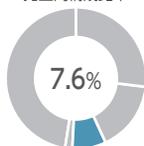
日本は、売上高は243億51百万円で、前年同期に比べて37百万円の増収となりました。セグメント利益は20億32百万円で、新技術の量産立上げコスト、新商品の開発費用などにより、前年同期に比べて3億18百万円の減益となりました。

売上高構成比率



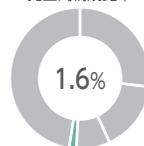
アジア地域は、売上高は143億84百万円で、中国市場の減速や販売単価の下落などにより、前年同期に比べて32億38百万円の減収となりました。セグメント利益は29億61百万円で、売上高の減少などにより、前年同期に比べて19億24百万円の減益となりました。

売上高構成比率



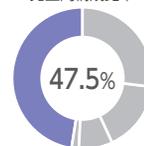
北米地域は、売上高は67億62百万円で、北米市場の減速などにより、前年同期に比べて13億73百万円の減収となりました。セグメント利益は5億53百万円で、売上高の減少などにより、前年同期に比べて3億21百万円の減益となりました。

売上高構成比率



その他地域は、売上高は14億25百万円で、前年同期に比べて3億27百万円の減収となりました。セグメント利益は4億44百万円で、前年同期に比べて1億24百万円の減益となりました。

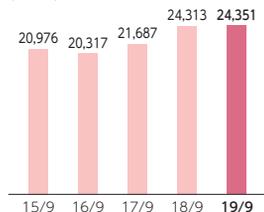
売上高構成比率



売上高は424億91百万円で、グローバルでお客様生産台数減の影響を受けたことにより、前年同期に比べて7億85百万円の減収となりました。セグメント利益は7億円で、現場改善活動が進んだことなどにより、前年同期に比べて4億10百万円の増益となりました。

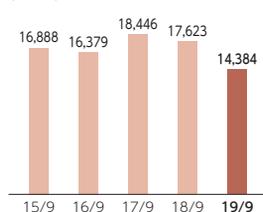
売上高

(百万円)



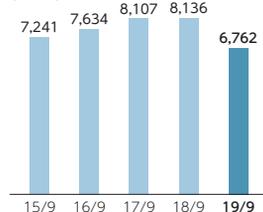
売上高

(百万円)



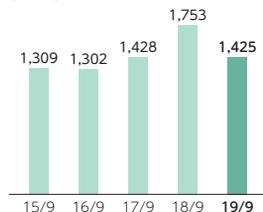
売上高

(百万円)



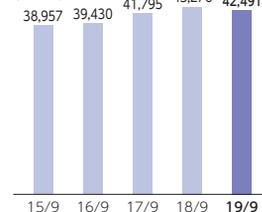
売上高

(百万円)



売上高

(百万円)



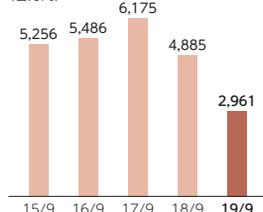
営業利益

(百万円)



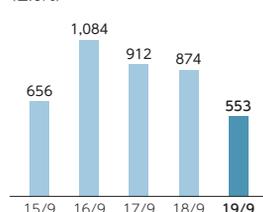
営業利益

(百万円)



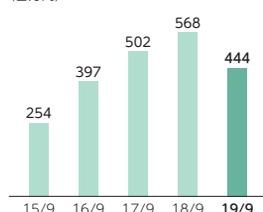
営業利益

(百万円)



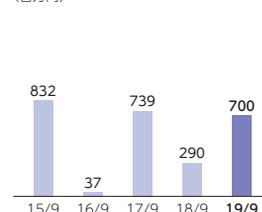
営業利益

(百万円)



営業利益

(百万円)



連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期末 (2019.9.30現在)	前期末 (2019.3.31現在)
資産の部		
流動資産	107,253	114,600
固定資産	123,876	117,675
有形固定資産	75,063	69,099
無形固定資産	2,566	2,601
投資その他の資産	46,246	45,974
資産合計	231,130	232,275
負債の部		
流動負債	63,718	69,184
固定負債	29,924	27,618
負債合計	93,642	96,802
純資産の部		
株主資本	100,074	96,261
その他の包括利益累計額	9,239	10,258
新株予約権	147	161
非支配株主持分	28,025	28,791
純資産合計	137,487	135,472
負債・純資産合計	231,130	232,275

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、87億75百万円（前年同期比1.8%減）となりました。主な資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が91億99百万円、減価償却費が53億44百万円、売上債権の減少額が48億73百万円、主な資金の減少は、仕入債務の減少額が45億72百万円、法人税等の支払額が26億18百万円等であります。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、58億58百万円（同12.1%減）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の売却による収入が26億63百万円、定期預金の払戻による収入が12億38百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出が90億74百万円等によるものであります。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、37億62百万円（同20.0%減）となりました。これは主に長期借入れによる収入が27億円及び返済による支出が33億65百万円、非支配株主への配当金の支払額が21億10百万円、配当金の支払額が9億60百万円等によるものであります。

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期 (2019.4.1～ 2019.9.30)	前第2四半期 (2018.4.1～ 2018.9.30)
売上高	89,415	95,103
売上原価	69,459	71,865
売上総利益	19,956	23,237
販売費及び一般管理費	13,310	13,913
営業利益	6,645	9,323
営業外収益	1,668	2,083
営業外費用	871	282
経常利益	7,442	11,125
特別利益	1,825	17
特別損失	69	225
税金等調整前四半期純利益	9,199	10,917
法人税等	2,175	2,166
四半期純利益	7,023	8,751
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,028	2,406
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,995	6,345

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期 (2019.4.1～ 2019.9.30)	前第2四半期 (2018.4.1～ 2018.9.30)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	8,775	8,934
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,858	△ 6,661
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,762	△ 4,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 581	△ 733
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 1,426	△ 3,164
現金及び現金同等物の期首残高	37,047	37,312
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	180	225
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,801	34,373

「第46回東京モーターショー2019」への出展



10月24日～11月4日の12日間、東京ビッグサイト（青海・西・南展示棟）、MEGA WEB、シンボルプロムナード公園等において東京モーターショーが開催され、TPRも出展致しました。今回は「OPEN FUTURE」をテーマに、世界でグローバルに活躍する総勢192企業・団体が参加し、1,300,900人の方々に未来のモビリティ社会を体感頂く場となりました。TPRは「コア商品」であるピストンリング・シリンドライナ・焼結製品をベースとして、ゴム製品、樹脂製品、各種シールリング、また「新素材分野」のカーボンナノチューブ、ナノポーラス、パワーバインダーや「CASE対応」のミリ波レーダーカバー、TCUといった展示を行いました。家族連れなど、多数の方が弊社ブースを訪れ、普段TPRと関わりの薄い一般の方々に認知して頂く良い機会となりました。

ヤマハ発動機より品質優秀賞受賞

4月18日にヤマハ発動機の「2019年グローバルサプライヤーズカンファレンス（GSC）」がオークラアクトシティホテル浜松で開催され、TPRは国内、及びグローバルでの「品質優秀賞」を受賞しました。



今年は国内においては3社、グローバルでは5社のみの受賞という、大変名誉のある賞となります。また国内とグローバルの同時受賞はTPRのみという、非常に嬉しい受賞となりました。

会社概要

- 社 名 TPR株式会社
- 所在地等 〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目6番2号
新丸の内センタービル
TEL：03-5293-2811（大代表）
FAX：03-5293-2824
URL：http://tpr.co.jp/
- 資本金 47億58百万円
- 設 立 1939年12月3日
- 従 業 員 783名

株式情報

株式の状況

発行可能株式数	135,000,000 株
発行済株式数	36,100,099 株
株主数	4,499 名
上記のうち議決権を有する株主数	3,852 名

大株主（上位10名）

株主名	所有株数 (株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	2,395,000	6.73
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,301,000	6.46
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,293,000	6.44
トヨタ自動車株式会社	2,070,600	5.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,546,600	4.34
株式会社みずほ銀行	1,518,800	4.26
ヒューリック株式会社	1,231,800	3.46
東京建物株式会社	933,687	2.62
TPR取引先持株会	894,100	2.51
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	825,000	2.31

(注) 持株比率は、自己株式（519,657株）を控除して計算しています。（小数点第3位以下切り捨て）

所有者別株式分布状況

